命を守るために！地震避難訓練を実施しました

～ 震度 6 想定の実践的訓練と「おはしも」の合言葉 ～

10 月 20 日（火）「震度 6 程度の地震が発生し、地震の揺れによって窓ガラスが割れ、足元には散乱物が多数ある」という実際の災害を想定した緊張感のある地震避難訓練を実施しました。

リアルな設定での避難行動と「おはしも」の実践

児童生徒たちは放送や先生方の指示をしっかり聞き、安全確保と危険回避を優先しながら、グラウンドへ避難しました。

避難の際には、避難行動の基本となる合言葉「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」を全員がしっかりと覚えており、慌てずに行動することができました。

指宿消防署の方による講話（避難方法・津波対策）

避難完了後、ご指導いただいた指宿消防署の方から、地震発生時の適切な避難方法や、地震に伴う津波への警戒・対処法についてわかりやすく講話をしていただきました。命を守るための具体的なポイントを学び、防災意識を高める貴重な機会となりました。

職員・管理職向けの反省会とアドバイス

全体訓練終了後には、担当係の職員および管理職を対象に指宿消防署の方々から専門的な視点からのアドバイスやフィードバックをいただきました。今後の防災マニュアルの見直しや学校全体の安全管理体制の強化に努めてまいります。



ご多用中にもかかわらず丁寧なご指導・ご助言をいただきました指宿消防署の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も日頃からの防災意識を高め、児童生徒の安全確保に全力で取り組んでまいります。